

悠久の里だより

秋号

2019年9月発行

発行元：特別養護老人ホーム 悠久の里

TEL:0979-26-0760 FAX: 0979-26-0761

【老人福祉施設職員研究大会にて「優秀賞」のご報告】

施設長 松永 卓也

この度、悠久の里が大分県代表(4施設)として九州老人福祉施設職員研究大会(佐賀県開催)に出題しました。分科会のテーマ「医療・介護・地域との連携」のカテゴリの中、酒井次長(※CSW)がオレンジカフェの取り組みを表題とした「人は“命”だけでは活きられない?!」を発表しました。

ところが何と悠久の里が優秀賞を頂きました。一周年を迎えた今日、ここで成果が認められた事は意義深く、地域貢献事業の励みとなりました。この大会において、大会審査委員長・及び議長(コメンテーター)の総評によると

- ・発表力・応用力のどれをとっても秀でていた。
- ・利用者・家族・地域の声を聞き、今、活きる力を引き出し「喜びを叶える」取り組みを積み重ねている。
- ・地域で自分らしく暮らすことができる社会。まさに地域貢献を目的に実践している。
- ・東九州龍谷高校食物科3年生が開設時よりスイーツ作りに参加し、若い世代を巻き込みながら「オレンジカフェ」を盛り立てている。

など、特にこの企画力に高評価を頂きました。

久しぶりに九州大会に出題させてもらいましたが沖縄を含む8県の演題はどれも素晴らしく、地域との連携が色濃く出ていました。酒井次長の発表も同じく「地域に出ていく=ニーズに答えていく」このエネルギーが、又その繰り返しの行動が必要とされる方々と寄り添い、まさに「集う場所」となりつつあります。これからもさらに工夫を重ね継続して行かねばと思う次第であります。

※CSWとはコミュニティソーシャルワーカーの略。
地域福祉活動の中心的担い手である職員のこと。
地域において支援を必要とする人の援助を行う。

心温まる世代を超えた交流の場所「オレンジカフェ三歩」

平成30年7月にオープンした「オレンジカフェ三歩」は年号も新たに1周年を迎えた。お菓子担当は東九州龍谷高校食物科3年生の高校生です。出会うはずもなかった18歳の学生と一人暮らしの高齢者が世代を超え繋がる光景は、いつも心を温めてくれる。いま国の認知症施策のひとつとして、2020年度までに全市町村に認知症カフェを普及させることを掲げた。認知症の人やその家族が地域の人や専門職と相互に情報共有し、互いを理解する場の促進が目的である。今後も認知症の人も、認知症でない人も社会で孤立せず、自分の存在価値を感じ生き活きと過ごせる場所とし意味を果たしていきたい。



CSW 酒井久美子

オレンジカフェ

Cafe 三歩

悠久の里 2F 毎月第4土曜日 13:30~15:00

高校生(東九州龍谷高校)手作り スイーツ+ドリンク **¥300**

※2回目からは¥200

施設内行事紹介

行事表

1月 1～7日 初詣
 7日 獅子舞
 25日 握り寿司
 3月 3日 ひなまつり
 4月 13日 ビハーラ：中津少年少女合唱団
 20日 お接待
 5月 8日 ビハーラ：ギター演奏
 24日 そば打ち
 6月 5日 ビハーラ：琴の演奏
 7月 3日 ビハーラ：歌唱
 8月 3日 夏祭り：糸口太鼓
 8日 初盆会

1月



握り寿司

4月



お花見

8月



夏祭り



盆供養

8月



そば打ち

5月

熱中症について ～医務部より～

【秋も熱中症にご注意を！】

今年の夏も全国で、熱中症の為に搬送される方が相次ぎましたが、熱中症は夏にだけ起こるものではありません。

季節の変わり目の秋は寒暖が激しく、涼しい日が続いたあと突然気温が高くなることがあります。しかし体が涼しい温度に慣れてしまっていると体温のコントロールする機能が低下することがあります。その為、涼しい日が続いた後は25℃程度の気温でも湿度が高くと熱中症になる場合があります。秋も夏同様水分の補給をしっかりと行いましょう。



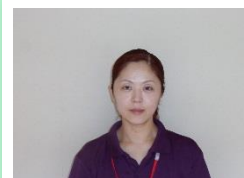
職員紹介

～栄養部・介護部の新人～

①出身地 ②趣味 ③好きな言葉 ④好きな食べ物 ⑤一言



管理栄養士
原田 和樹



介護職員
吉岡 しずか

①宇佐市
 ②魚釣り
 ③ありがとう
 ④メロン
 ⑤初めての社会人です。分からないことばかりですが、ご利用者様ひとり一人が満足していただけるような食事提供ができるように頑張りますので、よろしくお願いします。

①中津市
 ②映画
 ③七転八起
 ④チョコレート
 ⑤ご利用者様に寄り添った介護が出来る様に頑張りたいと思っていますので、宜しくお願い致します。